

もう はつ すい ぎん 毛髪水銀とは

わたしたちの髪の毛にはごくわずかの水銀が含まれています。これは魚介類に自然に蓄積していたメチル水銀によるもので、その濃度は魚の食べ方によって一人一人違います。なお、人の身体では水銀はたえず泄排され、蓄積し続けることはありません。体内の水銀レベルは食生活によって変えられます。

毛髪の水銀濃度は魚の摂取状況を反映しています
妊娠中を除き50 ppm以下で大きな健康影響はみられません
パーマをかけた髪では実際よりも低い水銀濃度になることがあります

もうはつ すいぎん のうど みかた 毛髪水銀濃度の見方

-50 ppm-
-11 ppm-
-5 ppm-
-2.8 ppm-
-2.5 ppm-
-1.6 ppm-

神経症状が出はじめるかもしれないレベル*1
…これを超える方はまれです(国水研調査による:以下同)
胎児の発育に影響が出はじめるレベル*2
…妊娠中のお母さんに限るとこれを超える方は少ないです
安全レベルの目安*3
…男性の約14%、女性の約4%の方はこれを超えています
妊娠時の安全レベルの目安*4
…出産年齢の女性の約19%の方はこれを超えています
男性の平均レベル(日本)
…全国約3,500人の平均値です
女性の平均レベル(日本)
…全国約5,600人の平均値です

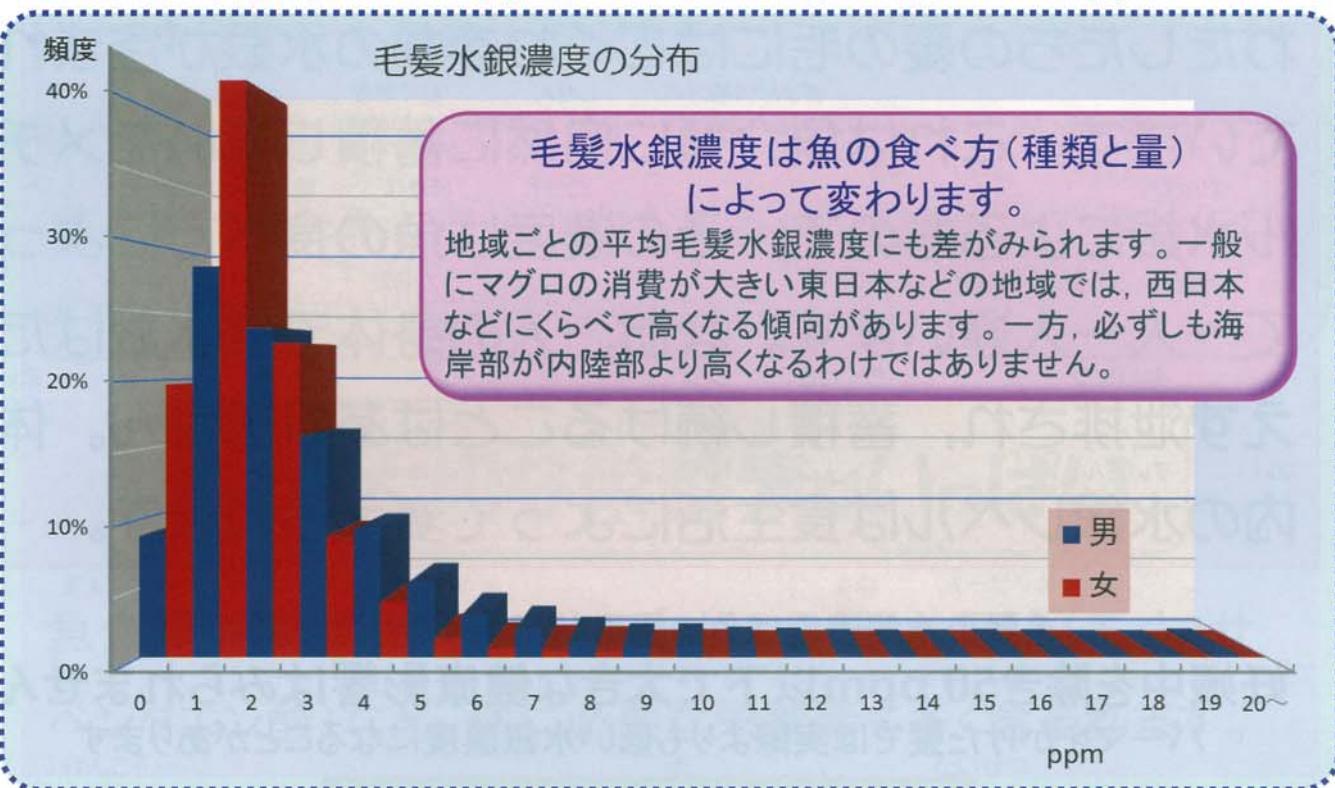
毛髪に含まれる水銀のほとんどはメチル水銀です

1 ppm(ピーピーエム)とは
1%(パーセント)の1万分の1
を表す単位です

*1) 一般集団の最大無作用量レベル(WHO, 1990), *2) 胎児影響の最大無作用量レベル(食品安全委員会, 2005)
*3) 暫定的耐容摂取量レベル(厚生省, 1973), *4) 胎児影響の耐容摂取量レベル(食品安全委員会, 2005)

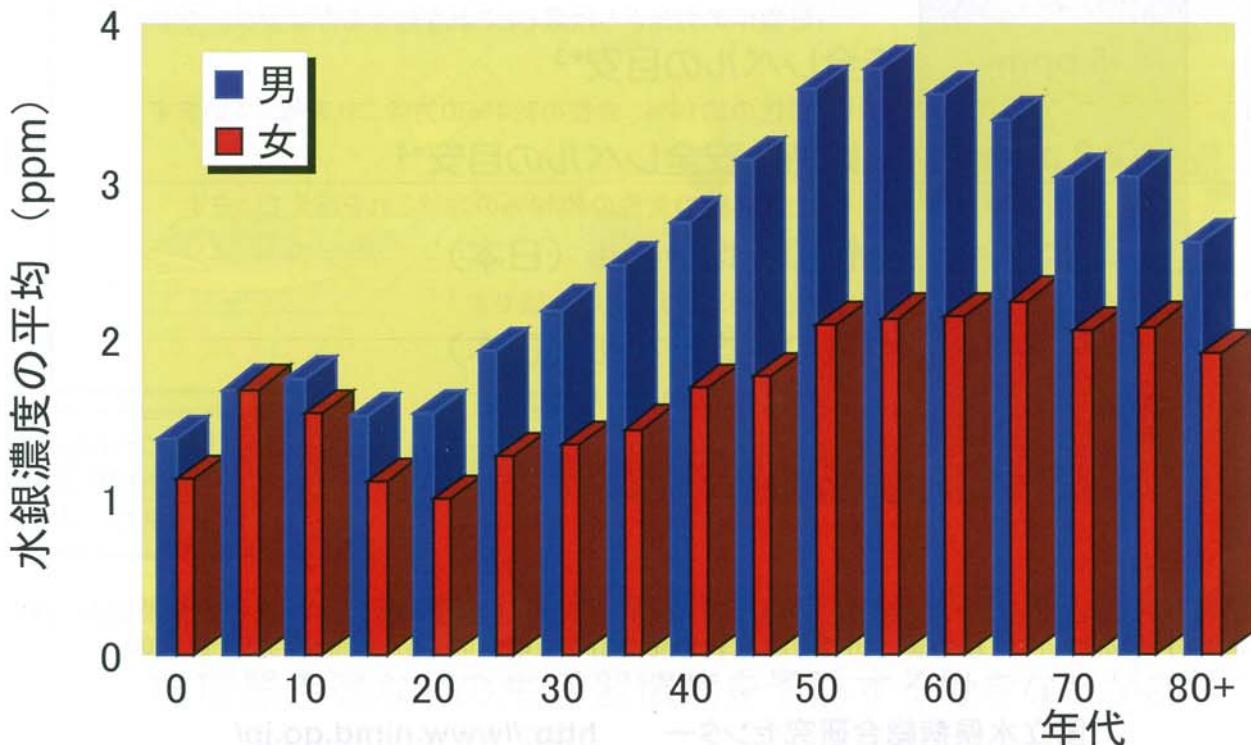
もうはつ すいぎん のうど せいじょうち 毛髪水銀濃度に正常値はありません

男性の9割は 0.8~7.2 ppm, 同じく女性は 0.6~4.5 ppm です。



へいきん すいぎん のうど ねんれい こと 平均水銀濃度は年齢でも異なります

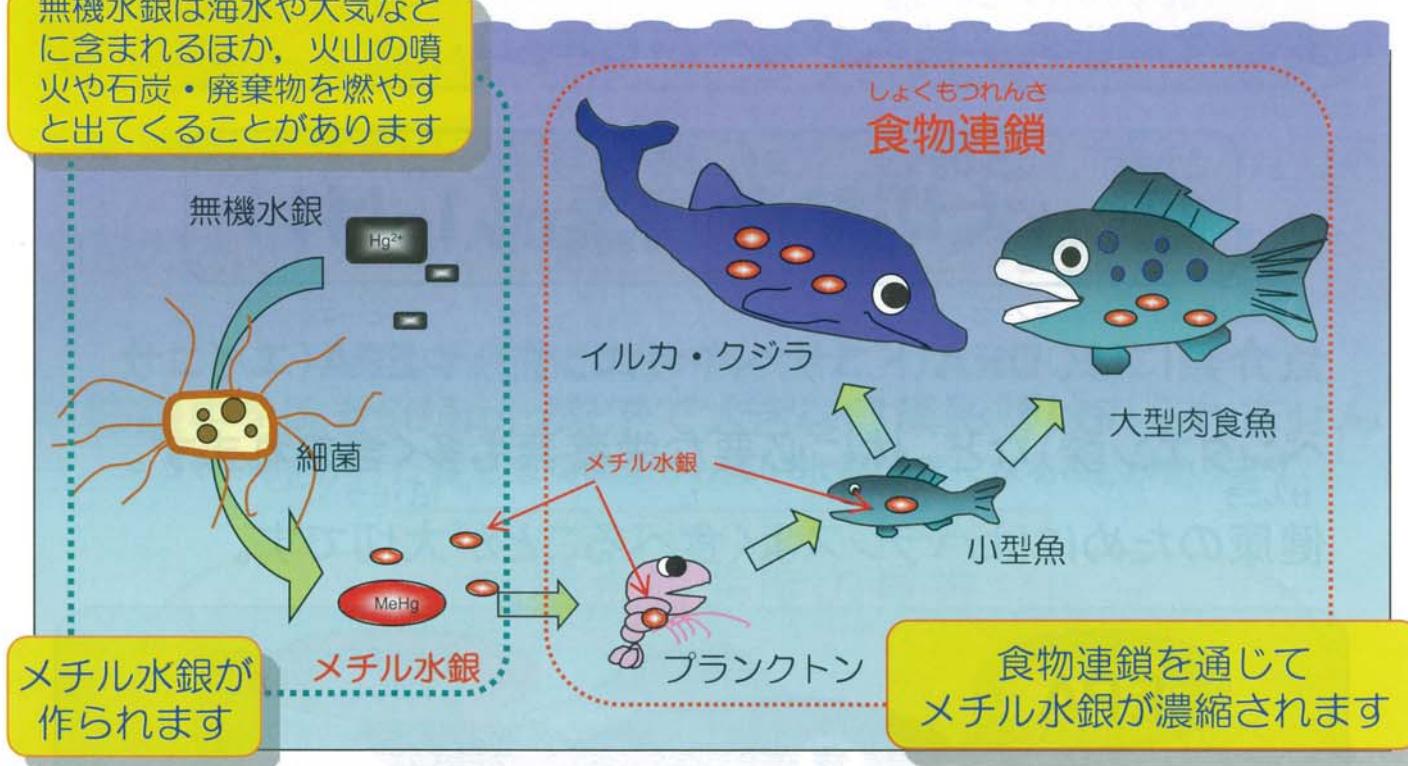
年齢による違いは魚介類の食べ方が年齢とともに変わるためにです。
たくさん食べる育ち盛りのお子さんでは高くなることもありますが普通は心配いりません



さかな しゅ るい すい ぎん 魚の種類とメチル水銀

ぎょかいるい ふく すいぎん のうど ぎよしゅ ちが
魚介類に含まれるメチル水銀の濃度は、魚種によって大きな違いが
おおがた にくしょくぎよ
あり、マグロ、カジキ、サメなどの**大型の肉食魚**やクジラやイルカなど
かいようほにゅうるい こうのうど すいぎん ふく けいこう
の**海洋哺乳類**は高濃度のメチル水銀を含む傾向があります。

無機水銀は海水や大気などに含まれるほか、火山の噴火や石炭・廃棄物を燃やすと出てくることがあります



銀色をした液体である水銀は金属の一種で、血圧計や温度計などに広く使われました。環境中の水銀の多くはほかの元素と結びついた無機水銀です。その一つである硫化水銀は赤い顔料の「朱」（水銀朱、丹、辰砂）として、古代より利用されてきました。

にほん た ぎょかいるい へいきんすいぎんのうど 日本でよく食べられる魚介類とその平均水銀濃度

魚種	水銀濃度 (ppm)	魚種	水銀濃度 (ppm)
サバ	0.16	タコ	0.03
サケ	0.01	カレイ	0.03
アジ	0.03	貝類(二枚貝)	0.01
サンマ	0.07	カツオ	0.17
イカ	0.02	ブリ	0.13
マグロ	0.97	タイ	0.08
魚加工品	0.01	ウナギ	0.04
エビ	0.03	カニ	0.02
イワシ	0.02	タチウオ	0.05

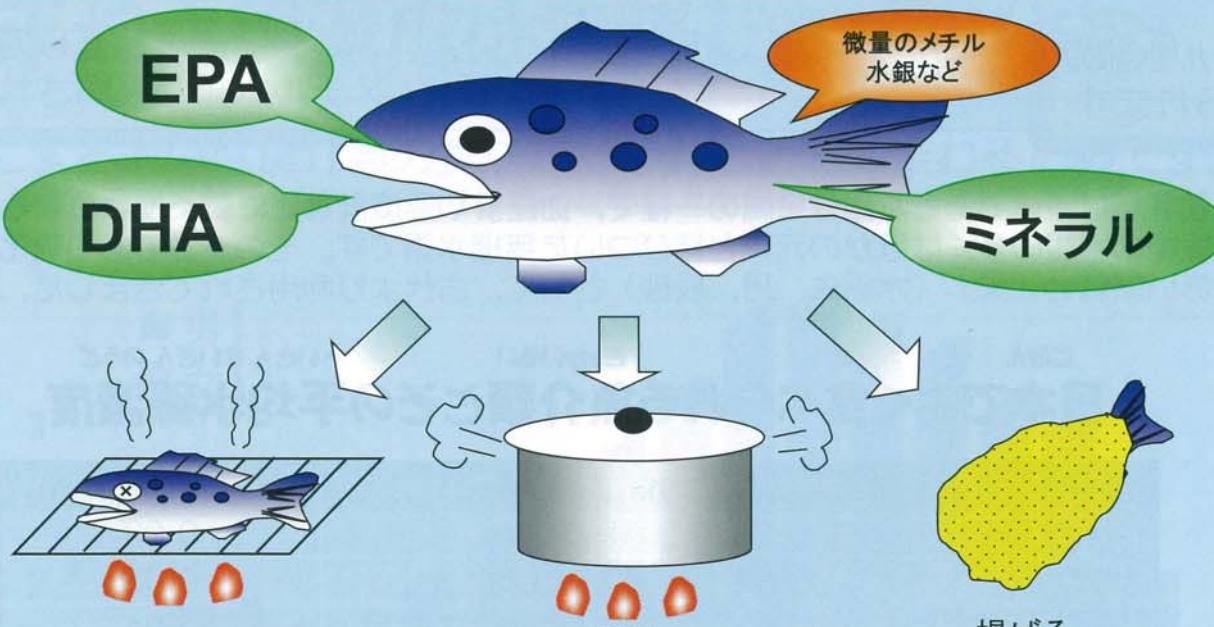
すいぎん じんたい はいせつ 水銀は人体から排泄されています

ひと からだ すいぎん だいべん はいせつ
人の身体では水銀は大便とともにたえず排泄されています。

すいぎん へいきん たいないりょう はいせつ
メチル水銀は平均して一日に体内量の1~1.4%が排泄され
ています。もし新たな摂取がなければ、約2か月で半分になり
ます(生物学的半減期が50~70日)。

さかな たいせつ えい よう そ 魚には大切な栄養素がいっぱい

ぎょかいりい ディーエイチー さん イーピーエー
魚介類には、DHA(ドコサヘキサエン酸)やEPA(エイコサ
さん からだ ひつよう えいようそ おお ふく
ペントエン酸)など、体に必要な栄養素も多く含まれます。
けんこう た たいせつ
健康のためにバランスよく食べることが大切です。



調理によって水銀濃度はほとんど変わりません

ふほうわ しほうさん なかま はついく
DHAやEPAは不飽和脂肪酸の仲間で、赤ちゃんや子どもの発育をうなが
じゅんかんき しつかん せいかつしゅうかんびょう よぼう はたら
したり、循環器疾患などの生活習慣病を予防する働きなどがあります。